

手元に大切に保存している手書きの台本があります。「第12回献血運動推進全国大会」。表紙の文字は薄れ、過ぎ去った年月を物語っています。想いを馳せると、当時の皇太子両殿下がご臨席の式典でした。内容は殆ど覚えていませんが、片時も忘れず、心に留めている場面があります。美智子妃のご様子です。壇上で表彰を受ける15人ほどの代表者に、温かい微笑みと視線をずっと送られ、…名前が呼ばれ、登壇し、表彰を受け、自席に戻る、その一人一人の一連の動作と…、心の

非言語の世界

フリーランスアナウンサー 今尾ひな子

中で同じ呼吸をされているように、「ご苦労さまです、ありがとうございます」と、まるで全身が応えられているようでした。

そのお姿は、後に学んだコミュニケーション学に重なりました。私たちは、言語よりも、圧倒的に「非言語」を動員して話していたのです。

笑顔、視線、うなずき、姿勢、服装、髪の色や形、声質など、様々な非言語を交えて、頭のとっぺんから足の先まで、全身で喋っています。なんと、93%が非言語だとも言われています。

例えば、この素描の依り萩と月」。芭蕉の句ですね。「も」が「と」になると大誤解。同じように一文字で四苦八苦の全9回でした。

皆様から励ましの声をいただき、心から感謝しています。

